

ガーナ ビジネスツアー

コンセプト

日程：平成27年9月3日～6日

主催者：在京ガーナ共和国大使館

支援団体：日本国外務省、経済産業省、日本貿易振興機構(JETRO)、独立行政法人国際協力機構(JICA)、アフリカ開発協会、国連工業開発機関(UNIDO)、経済同友会、日本経済団連合会、国際協力銀行、日経BP、近畿ツーリスト

予定参加人数：60名

宿発施設：Movenpick Hotel/ La Palm Beach Hotel (TBC)

背景

a) アフリカと日本の繋がり

アフリカは投資分野において最後の市場といわれています。日本はアジアのみならず世界において好調な経済を維持し、アフリカの開発において力強いパートナーです。日本はあらゆる分野で世界をリードしていますが、特にテクノロジーや農業分野においては優れた技術を保持しています。1993年以来から開催されているTICADにおいて、日本はアフリカ諸国にとっての確固たる協力者と考えられています。日本とアフリカの貿易は低く見積もっても250億ドルと推定されています。しかしながらアフリカはエネルギー、鉱物、農業の分野において戦略的に行動できる大陸へと変化しています。またアフリカは、約10億人の大量消費者市場であり、特に原料や石油においては日本や世界に多く提供できる潜在能力があります。世界銀行によると世界で最も早い規模で経済成長をしている20カ国のうち11カ国がアフリカ諸国にあります。

2014年にECOWAS会議でコートジボアールを訪れた安倍首相は、日本とアフリカは協力関係であり、パートナーでもある。日本の援助はこれからアフリカの雇用拡大と技術移転を促進するために用いると提唱しました。安倍首相のアフリカ訪問時には40カ国のアフリカ代表者が出席し、アフリカと日本の絆を深めるためのビジネスフォーラムとして開催されたTICAD Vのフォローアップが行われました。サハラ以南のアフリカは2015年に4.0-4.9%の経済成長が見込まれると世界銀行、IMF（世界通貨基金）がともに推定しています。日本

人のアフリカ投資への興味をサポートすべく、在京ガーナ共和国大使館、外務省、経済産業省、独立行政法人国際協力機構(JICA)、アフリカ開発協会、国連工業開発機関 (UNIDO)、経済同友会、日本経済団連合会、国際協力銀行、日経 BP は協力し合い、平成 27 年 9 月 3 日から 6 日にガーナ投資ツアーを開催したいと考えています。

b) ガーナの魅力について

ガーナは西アフリカ経済の復活した里子であり、約 2 億 5000 万人にのぼる安全な地域市場へのゲートウェイです。ガーナはグリニッジ標準時線がテーマの地域を通過しており、世界の中心に位置しています。週に 170 便もの国際便がガーナから世界各国へ飛び立っています。ガーナは金の国（生産国）とカカオで有名です。世界第 2 位のカカオ生産を誇るガーナには世界的に有名な 5 つのチョコレート会社のうち 4 社（Barry Callebaut, Cargill, Cadbury, Cocoa Toutonga）があり、ガーナ自由貿易地域に拠点を置いて活動しています。ガーナからの主な輸出品は木材、ボーキサイト、アルミニウム、マンガン、石油、パイナップル、マンゴ、シアバター、海産物、バナナなどがあります。

世界銀行が行っているビジネスのしやすい国ランキングでガーナは 67 位に選ばれました。人々がフレンドリーであると同時にガーナは一日中どの地域においても安全に過ごせることが保証されているからです。さらに電気通信分野は活気に満ちており、約 70 パーセントの国民の電話通信を 6 社がまかっています。インターネット通信においても同様なことがみられ、電気浸透率はアフリカで第 2 位の 80% となっています。2020 年までには国全体の電気がまかなえるように政府が働きかけています。ガーナの労働者は働く意欲があり、すぐに仕事を覚え、トレーニングがしやすく、新しい環境にすぐに適応する能力を兼ね備えてる上、コンピューターを使いこなせる人が多くいます。投資制度は憲法によってしっかりとした保証がされており、利益は本国へ容易に送金できるようになっています。また、駐在員は容易に現地労働者を雇用することも可能です。

ガーナはほぼ手付かずで自然のままに残された 539 km にも渡る海岸線があり、さらに湿地帯には野生の鳥が生息しており、“バードウォッチのパラダイス”と呼ばれています。さらにその地帯には 1000 種類もの蝶が生息しています。そしてガーナにはたくさんの旅行者達を魅了する野生生物、息をのむような美しい

山々、滝、サルの生息地、そしてUNESCOの世界遺産にも指定されている16もの中西部地域のヴォルタ・グレート・アクラの防塁と城郭が観光場所に指定されています。自然を愛している人にはカノピーウォークウェイがあなたのアドベンチャーの精神をかきたてることでしょう。

活気溢れるパレード、色とりどりに包まれた王族、わくわくさせる durbars そして戦士たちのダンスそれぞれは8月に開催されるお祭りで体験することができます。ガーナの民族衣装で高名で鮮やかなケンテは特別な機会に見ることが出来ます。ガーナの主な伝統的な食事はメイズ、キャッサバ、プランテン、ヤム芋、ココヤム、米そしてキビなどがあります。ガーナはアフリカの中でも民主主義をリードしている国であり、平和と政治的安定があります。政治によって捕らわれている人々はなく、報道陣も言論や報道の自由が認められており、これが活気あるメディアを生み出しています。ガーナには19の日本企業があり、それぞれが投資によって得た利益が高いと証言しています。55年前のガーナと日本の外交交友が始まる以前に野口英世により二つの国が結ばれていました。それ以降日本とガーナの二国間の関係は年々深まりながら広がりを見せてきています。そして私たちが困難に直面しているインフラ分野、電力やソーラーの分野で日本の投資家に投資する機会が十分あります。ガーナは **PriceWaterhouseCoopers** ランキングにおいて第5位にランキングしており、アフリカでもっともインフラの投資をするのに適した国に位置づけられています。ガーナではここ10年で合計5.9億ドルをインフラ整備のために使っていますが、さらにこれから10年間は120億ドル使う事が決まっています。インフラ分野は日本投資家にとって投資のやりがいのある分野であり、アフリカにおいて早い経済成長を促進させる為にはインフラ整備と技術移転が早く行われることが鍵となるからです。

外交政策においてはガーナは全ての国と良好な関係であり、敵対している国は一国もありません。ガーナの外交政策は近隣諸国、アフリカ全体、そして世界を同心円に動いています。一番の優先順位は世界の平和と安全保障にフォーカスされています。このようなことから、ガーナは国際連合平和維持活動等において世界第10位に位置づけられています。さらにガーナはアフリカ大陸において混乱の解消、平和維持活動において積極的に参加しています。まず平和というのは自らの家から始まるように、ガーナはまず民主主義において国内が平等で、自由、安全であり、そして信頼できる選挙を行っています。国会そして司法は代表者たちを監視できる最高の機関としてそれぞれの地域で運営されていま

す。憲法では個人が所有している土地や投資をおこなったものに対して政府が横領することを硬く禁じています。

ぜひガーナでガーナ人が提供するホスピタリティーと安全で喜びに満ちた世界を味わってください。

日本とガーナは投資家たちを守るために二国間投資協定を進めています。

c) 目的

このガーナ投資ツアーはエネルギー、農業、教育、保健衛生、情報通信、産業、インフラ、輸送、不動産、観光の分野において日本からの投資を促進することを目指しています。以下の事について提供します。

－ガーナのビジネス環境と可能なビジネス機会についての情報

－どのようにガーナ民間セクターと革新的、生産的な協力関係を結ぶかの議論の場

－日本からの最新の技術とトレンドを活用してのエネルギーソリューション

－ガーナへの投資の輸出セクターにおける金融仲介の議論の場

d) 活動

今回のプログラムには日本から参加した代表団とガーナ投資における機会、プロセス、規制、手順について、ガーナの外務副大臣、貿易産業大臣、観光大臣、財務副大臣、ガーナ投資促進センター職員とのミーティングの場が設けられます。さらには、ガーナ側との一対一のマンツーマンミーティングも企画されています。また、ガーナ観光、出発前夜のガーナ文化体験なども用意しています。さらには、在ガーナ日本大使館主催のレセプションもごさいます。

代表団は実際の場所や会社、ガーナ投資促進センターやガーナフリーゾーンボード（GFZB）を訪問する予定です。これらはガーナ企業とのパートナーシップのオファーがたくさんある事をガーナ日本商工会議所、ガーナ商工会議所に知らせることを意図としています。

e) 観光 宿泊の手配

在ガーナ日本大使館によって紹介された、近畿日本ツーリストを旅のパートナーとし、観光、宿泊の手配をお願いします。また、ガーナ観光省もこの旅には協力、連携します。この旅のパッケージにはビジネスミーティング、ガーナの会社への移動、現地視察、渡航費、4泊の宿泊費、エンターテインメント活動、ガイド付きのツアー、全ての移動費などが含まれています。

f) イベントの場所

ガーナ外務省の会議室

プログラム (予定)

- 1日目 ー日本大使館による歓迎レセプション
- 2日目 ーガーナ経済の概要と政府の経済変革
ー特定の分野での貿易と投資機会に関するセミナー
ー輸出部門における金融仲介
- 3日目 ー会社訪問、観光地、文化系イベント
- 4日目 ーGIPC、テマフリーゾーン訪問
ー夕方出発

申し込み

添付の申込用紙をアルファベットで記入し、大使館までファックスまたはメールにて返送して下さい。

締切日：2015年8月7日

追記

どの分野に興味があるのかを申込用紙に記入して下さい。訪問先などのアレンジをする際に必要となります。